

教育ミニセミナー

『看護必要度・院内評価者研修』実施報告

- 日時 : 令和7年11月20日(木) 17時15分～17時45分
- 対象者 : 看護師・コメディカル
- 目的 : 診療報酬改定に合わせた看護必要度内容の変更点について学び、適切に評価できる知識を習得する。
- 内容 : ・看護必要度 A・B・C 項目 / 看護必要度評価変更点 / 看護必要度の活用方法について
- 講師 : K 看護師 (25'重症度、医療・看護必要度院内評価者指導者研修修了者)
看護必要度委員

重症度、医療・看護必要度とは？

入院患者に必要とされる看護の業務量をはかる尺度で、20年以上前に開発されたものです。

「医療の質の向上」「看護の標準化」「看護の人材育成」を目的に作成された評価尺度で、一般病棟をはじめとした様々な看護体制の中で毎日評価が行われています。そのため、それぞれの病棟の「患者の重症度」「看護の業務量」が把握できる貴重なデータとして注目されており、日々のマネジメント(適正人材配置)、院内における多職種連携、入退院支援場面での地域スタッフとの情報共有等、多岐にわたる活用が期待されています。



効果的に活用するためには、このデータが正しく評価されたものでなければなりません。そのため、看護必要度を評価するすべての看護師が1回/年以上研修を受講し適切に評価が出来るように取り組んでいます。受講した内容を正しく理解できているか確認するためのミニテストでは、受講された皆さんが悩みながらも一生懸命テストに取り組んでいました。看護必要度委員会メンバーは評価の質向上につなげられるよう多忙な中でも研修企画に取り組んで下さいました。時には評価に悩むこともありますが、より確実な看護必要度評価が行えるように、今後

も取り組んでいきましょう！

研修お疲れ様でした！！



医療法人社団憲仁会 中井記念病院

看護必要度委員会/教育委員会